

# 令和4年度 事業計画

一般財団法人 長岡花火財団

## 1 基本方針

当財団は、長岡花火の価値を「守り・伝え・高める」活動を展開し、市民の誇り・長岡花火を次世代につなぎ、市の魅力を高めるけん引役を担う組織として活動します。

また、大規模化した花火大会のリスク管理体制の強化をはじめ、年間を通じた長岡花火のプロモーションを積極的に推進するとともに、自主財源の確保等を行い、組織基盤を確立していきます。

## 2 令和4年度の重点的な取り組み

### (1) ウイルス禍における長岡まつり大花火大会の企画・運営

新型コロナウイルス感染症の影響で、大花火大会は2年連続の中止となり、2022年大会は3年ぶりの実施となることから、～みんなであげよう！長岡花火！～をテーマとした花火大会とします。

また、ウイルス禍における大会となることを受け、県の協力を得ながら、「感染防止安全計画」を策定し、徹底した感染症対策を施して運営に当たります。警備方法や設営物も抜本的に見直して安全面を向上させるとともに、大型花火スポンサーや長岡煙火協会と連携し、花火プログラムの変更も視野に入れながら、関係企業・団体と一体となった事業運営を行います。

### (2) 長岡の誇りを伝える活動

「道の駅ながおか花火館」を市民の誇り「長岡花火」を伝承する拠点と位置づけ、市民はじめ、未来を担う次世代が、「長岡花火」への理解をより深めながら、今以上に長岡に「誇り・愛着」を持てるよう活動を展開します。

また、長岡花火に関わるボランティアの育成にも取り組みます。

### (3) 長岡花火ブランドの全国・世界発信

長岡花火ブランドの価値を高め、広めるプロモーション活動を国内外問わず積極的に実施します。また、年間をとおして「花火のまち・長岡」を感じ、訪れてもらえるよう各種事業に取り組みます。

### (4) 組織力の強化

長岡花火を応援する企業・団体との連携をさらに深め、新たな財源確保や財政負担の軽減を図るとともに、不測の事態に備える「災害等対策基金」への積み立て、組織の継続性や優れた人材を養成する活動を行い、安定的な組織運営を目指します。

### 3 主な事業計画

#### ◆ウイルス禍における長岡まつり大花火大会の企画・運営

##### (1) 感染症対策の徹底 (感染防止安全計画の策定)

- ・飛沫の抑制の徹底  
(適切なマスクの着用や大声の制限の周知・徹底)
  - ・手洗い、手指消毒の徹底  
(アルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施)
  - ・来場者間の密集回避  
(無料席の有料観覧席化、安全な移動動線の確保と誘導員配置、区画当たりの人数 制限を施した観覧席の設置ほか)
  - ・入退場やエリア内、及び大会前後の行動管理  
(飲食の制限、大会前後の感染防止注意喚起ほか)
  - ・参加者の把握・管理等  
(無料席の有料観覧席化による参加者の把握、接触確認アプリの活用など)
- ※感染症対策ガイドラインに則った大会運営を行う。

##### (2) 安全対策の徹底

- ・感染症対策を踏まえ、警備体制や資器材配置等を再精査し、安全・安心、かつ、効率的な警備の実施。

##### (3) 迷惑駐車対策

- ・ウイルス禍に伴うマイカー来場者の増加を踏まえ、「長岡花火駐車場シェアプロジェクト」を拡充。

#### ◆チケット販売

##### (1) 市民先行販売     ☛ 市民中心の大会へ

##### (2) 不正転売の排除

- ・コンビニ販売の中止、リセールサイトの設置ほか

##### (3) 窓口販売の廃止

- ・密回避のほか、長時間待機による混乱・事故・傷病の防止ほか

##### (4) 実状に即した有料観覧席の価格改定

## ◆長岡の誇りを伝える活動

### (1) 情報発信拠点を戦略的に展開

- ・ながおか花火館内の長岡花火ミュージアムを軸に、市内の子どもたちを対象にした普及啓発プログラムを作成し、伝承活動を強化。
- ・新たなドームシアター映像を制作、放映し、市域全体で長岡花火を訴求する体制を構築。
- ・アオーレシアター映像の積極的な活用及び連携。

### (2) 学校等への訪問活動、米百俵未来塾での啓発活動の充実

- ・長岡花火の歴史・想いを子どもたちへ伝えるための学校への訪問活動。
- ・長岡市米百俵財団主催の「米百俵未来塾」に参画し、長岡花火をとおして、ふるさと長岡に誇りと自信を持てる人材を育成。
- ・企業・団体等、成人向けの講演、講義を積極的に実施。

### (3) 長岡花火に関するボランティア活動を通じた人材育成

- ・長岡花火の普及・啓発活動や会場設営等を通じ、長岡花火に関わるボランティアの育成（国際ボランティア協会、長岡青年会議所等との連携等）。

## ◆長岡花火ブランドの全国・世界発信

### (1) 長岡米百俵フェス（4回目）

- ・音楽フェスとコラボした長岡花火の打ち上げ。
- ・時期：令和4年10月7日、8日、9日
- ・会場：東山ファミリーランド

### (2) 長岡花火ウインターファンタジー（6回目）

- ・冬の長岡花火の打ち上げ。国営越後丘陵公園と連携し、観光資源として定着を図る。
- ・時期：令和4年12月上旬 会場：国営越後丘陵公園

### (3) 長岡雪しか祭り

- ・長岡雪しか祭り実行委員会に参画。長岡花火「雪花火」の打ち上げ。
- ・時期：令和5年2月中旬 会場：千秋が原ふるさとの森

### (4) ホノルルフェスティバルにおける長岡花火の打ち上げ

- ・姉妹都市ホノルル市のホノルルフェスティバルにおける長岡花火の打ち上げ。
- ・時期：令和5年3月中旬 ※打ち上げはフェスティバル最終日。
- ・会場：ハワイ州ホノルル市ワイキキビーチ

**(5) 長岡花火ローズファンタジー（新規）**

- ・春の長岡花火の打ち上げ。国営越後丘陵公園の実施により、年間を通じた長岡花火のプロモーションを図る。
- ・**時期**：令和4年6月中旬 **会場**：国営越後丘陵公園

**(6) 長岡花火打上サポート制度**

- ・各地域や他団体のイベント等における、長岡花火の発信や想いを伝える活動に対し支援。

**(7) 知的財産権の利活用および制度化に向けた検討**

- ・「長岡花火」の商標権取得を戦略的に推進（長岡花火の知名度向上、公式グッズの製作）。
- ・商標権の意義を広める活動を実施し、地域全体で長岡花火ブランドを守り、高める気運を醸成。

**(8) 若年層への訴求**

- ・若年層の来場率減少や総体的な人口減が進む中、永続的に花火大会を実施していくため、若い世代に向けたプロモーション活動を戦略的に展開。

**(9) 長岡花火のさらなる深化**

- ・変化する社会環境にあわせ、打ち上げにかかる技術面の課題を専門家（産官学）等と共有し、将来に向けた新たな花火の研究開発を進め、他の花火大会との差別化と長岡花火の更なる発展をめざす。

**◆組織力の強化**

**(1) 保険加入（事故リスクへの対応）**

- ・大規模花火大会に対応した損害賠償保険。
- ・花火大会の中止・延期に備えた興業中止保険。
- ・役員賠償責任保険団体制度。
- ・煙火消費が原因による人的・物的損害に対応する煙火消費保険。

**(2) 災害等リスク対応**

- ・不測の事態に備えた「災害等対策基金」への積み立て。

**(3) 自主財源の確保、財政負担の軽減**

- ・「長岡花火オフィシャルパートナー協定」の締結企業を拡充し、サービスの享受により財政負担を軽減。

**(4) 人材の育成**

- ・財団の健全な運営の継続性を図るため、必要な人材の確保及び育成。

## ◆長岡花火ブランド戦略の深化【新規】

### (1) 長岡花火ブランド戦略プランの策定

- ・ウイルス禍における2022年大会の開催を受け、今後の長岡花火ブランドについて戦略プランを策定。

# 令和4年度予算

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[ 10,000]	[ 19,000]	[△ 9,000]
基本財産受取利息	10,000	19,000	△ 9,000
事業収入	[ 677,650,000]	[ 15,311,000]	[ 662,339,000]
観覧席販売収入	633,545,000	0	633,545,000
駐車場協力金収入	10,485,000	0	10,485,000
各種販売収入	11,970,000	12,020,000	△ 50,000
各種賦課金収入	650,000	47,000	603,000
業務委託料収入	21,000,000	3,244,000	17,756,000
補助金等収入	[ 157,470,000]	[ 118,435,000]	[ 39,035,000]
長岡市派遣職員人件費補助金収入	57,470,000	57,470,000	0
その他補助金収入	100,000,000	60,965,000	39,035,000
寄付金収入	[ 580,000]	[ 3,970,000]	[△ 3,390,000]
寄付金収入	580,000	3,970,000	△ 3,390,000
協賛金収入	[ 212,100,000]	[ 24,300,000]	[ 187,800,000]
現金協賛金収入	38,800,000	0	38,800,000
広告協賛金収入	800,000	0	800,000
花火協賛金収入	156,000,000	0	156,000,000
フェニックス花火協賛金収入	10,000,000	0	10,000,000
その他協賛金収入	6,500,000	24,300,000	△ 17,800,000
雑収入	[ 455,000]	[ 10,800,000]	[△ 10,345,000]
受取利息収入	2,000	2,000	0
雑収入	453,000	10,798,000	△ 10,345,000
事業活動収入計	1,048,265,000	172,835,000	875,430,000
2. 事業活動支出			
大会運営事業費支出	[ 824,884,000]	[ 48,050,000]	[ 776,834,000]
花火打上事業費支出	207,203,000	9,200,000	198,003,000
会場設営事業費支出	289,272,000	30,800,000	258,472,000
安全対策事業費支出	198,356,000	1,720,000	196,636,000
交通対策事業費支出	46,052,000	0	46,052,000
観覧席販売事業費支出	51,674,000	2,430,000	49,244,000
寄付懇請事業費支出	10,495,000	3,900,000	6,595,000
受入体制強化事業費支出	21,832,000	0	21,832,000
普及啓発事業費支出	[ 4,970,000]	[ 0]	[ 4,970,000]
伝承活動事業費支出	4,970,000	0	4,970,000
ブランド発信事業費支出	[ 103,600,000]	[ 58,400,000]	[ 45,200,000]
情報発信事業費支出	25,937,000	11,200,000	14,737,000
海外発信事業費支出	5,860,000	0	5,860,000
情報発信拠点事業費支出	13,260,000	2,200,000	11,060,000
長岡花火打上プロモーション事業費支出	58,543,000	45,000,000	13,543,000
その他プロモーション事業費支出	[ 7,636,000]	[ 2,780,000]	[ 4,856,000]

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
その他プロモーション事業費支出	7,636,000	2,780,000	4,856,000
管理費支出	[ 106,898,000]	[ 87,702,000]	[ 19,196,000]
人件費支出	75,710,000	73,030,000	2,680,000
施設費支出	12,842,000	10,472,000	2,370,000
その他管理費支出	18,346,000	4,200,000	14,146,000
事業活動支出計	1,047,988,000	196,932,000	851,056,000
事業活動収支差額	277,000	△ 24,097,000	24,374,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	[ 0]	[ 12,964,498]	[ △ 12,964,498]
災害等対策基金特定資産取得支出	0	12,964,498	△ 12,964,498
投資活動収入計	0	12,964,498	△ 12,964,498
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	[ 0]	[ 33,000,000]	[ △ 33,000,000]
災害等対策基金特定資産取得支出	0	33,000,000	△ 33,000,000
投資活動支出計	0	33,000,000	△ 33,000,000
投資活動収支差額	0	△ 20,035,502	20,035,502
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	277,000	△ 44,132,502	44,409,502
前期繰越収支差額	3,018,083	47,150,585	△ 44,132,502
次期繰越収支差額	3,295,083	3,018,083	277,000